

会議名	第 22 回杉並区立永福南小学校・永福小学校統合協議会
日 時	平成 25 年 1 月 28 日 ( 月 ) 午前 10 時 ~ 11 時 45 分
場 所	永福南小学校 視聴覚室
出席者	統合協議会委員 20 名 ( 欠席 3 名 )
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ</li> <li>2 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 統合新校の校歌について</li> <li>(2) 永福南小学校・永福小学校統合協議会報告書について</li> </ol> </li> <li>3 報告 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 永福南小学校震災救援所について</li> <li>(2) コミュニケーションマークの使用について</li> </ol> </li> </ol>
資 料	資料 1 統合新校の校歌 資料 2 永福南小学校・永福小学校統合協議会報告書案

会長	<p>それでは、定刻になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>おはようございます。明け方から降り始めた雪がだんだん積もってきて、またこの間のような状況になるのかなと大変心配しておりました。今日は統合協議会なので、皆さんが来るときにも道が滑りやすくなったりしたら大変だなと思っていたら、こちらでは雪が溶けておりました。やっぱり太陽が照ってくると、こうも見事に雪が消えるんだなと思って、改めて太陽の力のすごさを感じさせていただきました。</p> <p>この統合協議会も、皆さん方の太陽のような熱き心で 22 回目を迎えて、今日が最後の統合協議会の予定になっております。新たに皆さん方にいろいろ確認していただいたり、協議をしていただいたり、あるいはご意見をいただいたりしながら、平成 25 年 4 月の統合新校に向けて、またもう一度、ここで確認の会にできればなと思っています。どうぞよろしく願いしたいと思います。</p> <p>それでは、教育委員会から部長がおいでいただいておりますので、ご挨拶いただきたいと思います。</p>
学校教育担当 部長	<p>おはようございます。今朝はすごく雪が降っていましたが、今は晴れやかで、まさにこの統合協議会がやってきたこと、大変だったことが最後にきちっと晴れ渡るという、皆さんの日ごろの心がけがすべて出たんだとい</p>

	<p>う気がします。</p> <p>平成 22 年の 5 月から 2 年と 8 カ月、22 回、ありがとうございました。杉並区にとっても 2 つ目の統合新校の設立となり、皆さんの知恵をたくさん出していただいた結果がこのようにまとまったと思います。私は去年の 4 月からでしたけれど、この報告書の概要を全部見させていただきました。一番すごいなと思ったのは、新校の教育目標の設定を論議していただいた部分です。新しい学校を子どもたちのためにつくるという思いが非常に出ていたと思います。</p> <p>新しい校歌を聞かせてもらいましたけれども、「やさしくつよく」というのがあの校歌をつくった原点だと思います。すごくいい校歌だと思いました。校歌はこの統合協議会の大きな成果の 1 つだと思います。本当に 2 年 8 カ月間、ありがとうございました。今日が最後になりますけれども、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議題に入ります前に、資料確認をさせていただきます。</p> <p>本日の次第、資料 1 で永福小学校の校歌をつけさせていただきます。資料 2 としては、「杉並区立永福南小学校・永福小学校統合新校の開校に向けて 統合協議会報告書」があります。そして、前回、第 21 回目の統合協議会の議事録となっております。</p> <p>今日は、まず議題の統合新校の校歌について皆さんにお聞きいただいた後、ご承認いただいて、次に震災救援所等について防災課からの報告、その後、報告書についてということで進みます。またコミュニケーションマークの使用とその他について、改めて副会長と相談して、今後の 4 月からの統合新校をどういう形で進めていけばいいか話し合った内容について報告させていただきます。</p> <p>その他、ほかに何か、ぜひこのことを話題にしてほしいということはありませんでしょうか。よろしいでしょうか。(なし)</p> <p>そして、先ほどからも話に出ておりますが、きょうは最後の統合協議会ですので、一番最後には皆さん方から一言ずつお話を聞かせただければなと思っておりますので、どうぞよろしく願いしたいと思います。では、そのような流れで進めさせていただきます。</p> <p>まず初めに、統合新校の校歌について、よろしく願いいたします。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>資料 1 に歌詞等が載っています。テープをこれから流しますので、お聞きください。</p>
	(校歌)
新しい学校づくり係主査	<p>作詞のタケカワユキヒデさんと作曲の吉川慶さんから、それぞれメッセージをいただいておりますので、紹介いたします。</p>

新しい学校づくり係

まず、タケカワユキヒデさんのほうからご紹介します。

皆様へ

永福小学校の新しい校歌の歌詞ができ上がりました。その歌詞について少し説明させてください。

1番では、2つの小学校がお互い大事にしているものを忘れないで一つになったということを歌っています。けやきと芝生がその象徴になっています。「大事な思い出」としないで「大事な思い」としたのは、皆さんに前に進んで行ってほしいからです。2つの小学校が一緒になったという意味も含めて、1番から3番まで、最後の行で「私たちの小学校」と歌っています。

2番では、子どもたちがいじめのない友達関係をつくってほしいと願いました。どんなときでも助け合える関係が必要だと考えます。「心と心がつながっている」の行では、東北大震災以来、国民的な関心事になった絆を意識しました。この2番は、統合校の教育目標に照らし合わせますと、「やさしくつよく」の「やさしく」の部分です。統合協議会ニュースの5号の教育目標の記事を参考にさせていただきました。

3番では、この小学校で育った子どもたちが大きく羽ばたいてほしいという願いを込めまして、「心で心を育てていこう」の行では、先生方の心で生徒たちの心を育ててほしいという意味と、友達同士、心で育て合おうという意味と、自分で自分を育てようという意味と、3つの意味を込めました。これらは人生にチャレンジしてほしいという意味で、統合校の教育目標である「やさしくつよく」の「つよく」の部分表現したつもりです。これに関しても、統合協議会ニュース5号を参考にさせていただきました。

最後に、3番の5行目で、「子どもは宝なんだぞ」と子どもたち自身に言わせてみました。昨今の少子化傾向に対する僕のレジスタンスですが、子どもが権利宣言をする世の中なので、自分たちは宝なんだということを高らかに校歌で宣言するのも必要かもしれないと思いました。それが「この小学校に宝あり」の行です。

それから、この校歌にサブタイトルが必要な場合は、「やさしくつよく」を使っていただきたいと思います。この新しい永福小学校の校歌の歌詞、気に入っていただければ幸いです。

続いて、吉川慶さんからもいただいています。

皆様へ

	<p>メロディーは当初2タイプつくった上で、タケカワさんと一緒に考えて最終的にこの曲にしました。音域が広く、少し難しい部分もありますが、子どもたちにあえてチャレンジしてもらうことによって、それぞれがその先の長い時間、この曲を歌ったことが少しでも記憶に残るような校歌になればという思いを込めてつくりました。</p> <p>協議会委員の皆様、見学をさせていただいた各小学校の先生方、そして貴重な時間と助言をいただいたタケカワさん、かけがえのない機会をいただき、本当にありがとうございました。子どもたちが歌う姿を楽しみにしています。</p>
新しい学校づくり係主査	<p>それで、ご相談といたしますか、タケカワさんのメッセージの中で、サブタイトルのことについて触れておりました。今回の資料には「やさしくつよく」と括弧書きしてあります。タケカワさんは、このサブタイトルは、使っていただければこれをお願いします、もし必要なければカットしてもいいですとおっしゃっているんですけども、ご相談は、このサブタイトルの「やさしくつよく」をつけるかどうかというところです。</p>
会長	<p>歌詞並びにメロディー等については、ある程度お任せいただきましたのでこの内容で進めさせていただきたいと思っています。今の「やさしくつよく」をサブタイトルにするかどうかということについて、皆さんにご協議させていただきたいと思っています。</p> <p>いろんな学校で、もちろん「校歌」という形になっているところもありますし、サブタイトルがついている校歌もあります。ですから、サブタイトルがついていることが非常にイレギュラーなことではありません。その辺は新しい学校をつくっていく上で、その校歌にどういう思いを託していくのかという皆さん方の思いもその中に考えていただいて、決めていただければなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
委員	<p>タケカワさんのメッセージを聞いて、「やさしくつよく」という教育目標の基本をととも考えてくださっているので、サブタイトルとして使用させていただいたほうがよろしいんじゃないかと思います。</p>
委員	<p>私は逆にサブタイトルは要らないと思います。この校歌はこれから先、10年、20年、30年ずっと続いていくわけですが、教育目標は変わるものです。ここで話ししたときのように、ある程度年数がたつと時代も変わるし、子どもたちも変わるということで、必ずしも教育目標を長いこと使うものじゃないですねというお話をしたと思うんです。ここにサブタイトルでつけてしまうと、10年、20年、30年、「やさしくつよく」がずっと残ってくるんじゃないかなと思います。これは教育目標に言葉が残っているので、永福小学校の校歌というだけでもいいんじゃないかと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>以前、教育目標のときに、教育目標は永遠に使っていくものではなくて、そのときの子どもや時代のニーズに応じた形で変えていく必要があるということで、確認をさせていただきました。そういうことを踏まえた今のお話と、「やさしくつよく」をもう一度みんなに改めて心の中にとめてもらいたいというようなご意見から、入れたほうがいいという両方のご意見があります。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、このサブタイトルというのは本当に耳慣れないというか、今までにはなじまないのかなと思いましたけれども、逆に最初にお話があったとおり、永福小学校が新しく統合しまして、「やさしくつよく」というこれが永福小学校なんだと。今、いじめが少なくなっているとは言いながらも、陰に回ってのいじめはなくなるような教育環境、学校の環境があるので、永福小学校はみんなやさしくつよく育ててもらいたいという意味を込めて、このサブタイトル、新しい再出発の校歌で、こういう目的でつくったんだよということを子どもたちにずっと知らしめていっていただけたほうがいいんじゃないかと思います。</p> <p>教育目標は教育目標でそのときどきで変わっても構わないんだけど、こうやって統合してスタートして、これから未来永劫向かっていくわけなので、永福小学校のこれが売りなんだよという、私はうまく表現できないんだけど、それで一つになっていけばいいのかなと。いじめのない学校と堂々と胸を張って言える永福小学校なんだよとアピールしたい、アピールできればいいのかなという意味を含めて、「やさしくつよく」というサブタイトルをわざわざつけたんだよということを子どもたちに教えていただければいいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。教育目標とはまた別に考えるということのお話だったと思いますが、ほかにはいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>教育目標としては変わっていくものだとは思いますが、今、意見があったように、「やさしくつよく」は永遠のものだと思うのです。その願いがこもっていてすごくいいと思うのですが、「やさしくつよく」が校歌の歌詞の中にしっかりと1番、2番、3番と出てきて、ここがそれこそ一番言いたいことなんだということがすごく出ていると思うんですね。1番、2番、3番まで歌って、一目瞭然で「やさしくつよく」ということを訴えたいんだな、伝えたいことなんだとわかるので、サブタイトルがなくても伝わるんじゃないかと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も校歌を聞いていて、やはりこの中に「やさしくつよく」が1番、2番、3番に全部入っていますので、わざわざもう一度サブタイトルとして</p>

	<p>これを入れなくてもいいんじゃないかなと最初に感じたんです。今までの意見も踏まえて、やはり「永福小学校校歌」のままでいいんじゃないかと思います。</p>
委員	<p>このサブタイトルは、この校歌の後に常に括弧書きでつくようになるのであれば、やっぱり繰り返しになるので、あえてつけなくてもいいのかなと。十分に作者の方の思いが伝わってきますので、いいんじゃないかなと思うんです。例えば校歌がレリーフみたいにして体育館とかに飾られたとき、バランスを見たときにちょっと目立ってしまうかなと。校歌よりもサブタイトルのほうに目が行きがちかなとちょっと思ってしまったんです。でも、すごくタケカワさんの思いも考えると、あってもいいのかななんて、ちょっと迷ったりもするんですけども、なくてもいいかなと少し思ったりしました。</p>
委員	<p>私も今の表示の仕方は最初に気になりました。それが1つと、これは歌っている子どもたちが「こういうことを訴えているんだな」と感じてほしいことだと思うんですね。「やさしくつよく」を永福小は頑張ってやっていくんだよということ子どもたち自身から感じられるようにするには、親切の押し売りじゃないですけども、表題がないほうがいいのかと思います。なので、括弧書きもなくて、子どもたちに感じ取ってほしいなと思います。</p>
会長	<p>歌いながら歌詞の中で感じ取ってほしいなということですね。 ほかにはいかがでしょうか。 ここまでいろいろなことについて皆さんのご意見をいただきながら進めてきた統合協議会ですので、ここでもぜひいろいろな思いで、恐らくここでどちらになろうとも、「やさしくつよく」は大事なことなんですということは、もう皆さん共通理解をしているし、きっと永福地区の新しくできた統合新校は、みんなやさしくつよい子どもであるということみんな思っていることだと思うんです。こういう言い方をしたら大変失礼なんですけれども、あくまで表記の仕方とか、あらわし方をどう考えていくかということなのだろうなと思っています。だから、どちらになろうとも、やはり皆さんの思いは同じ思いの中で話が進められているんだろうなと話を聞いていて思っております。</p>
委員	<p>恐らく私どもが受けとめるのは、詞をつくってくれた方、曲をつくってくれた方の思いを受けとめているということで、きっとそれぞれにやってくくださった方、この思いを伝えようと思っておられると思います。 現実はこの歌を歌い込めば込むほど、「やさしくつよく」というイメージがこの歌から感覚的にフィーリングとして子どもたちに受けとめられ、ま</p>

	<p>た、地域の方に受けとめられれば、括弧書きで一々書くことはない。もし受けとめられなければ、この曲から余り「やさしくつよく」は受けとめられないという曲になってくるので、場合によっては変更するときもあるかもしれない。これは思いを込めてここまでつくっておられますので、ぜひこれを私どもが受けとめて、括弧書きは私どもの意向として、実際歌ってみて本当にこのイメージが出てくるかどうか、それを私どもが歌い込んだ中で表現していけばいいと思います。</p>
委員	<p>ちょっと外れるかもしれませんが、この新しい校歌を子どもたちにこれから教えるわけですね。覚えてもらうわけですね。そのときに、最初、冒頭にあった作詞の方、作曲の方がこういう思いでつくったんだよということを子どもたちに今後教えていただけるんですか。</p>
会長	<p>それはもちろん。</p>
委員	<p>この一回だけじゃなくて。まして、新しく入ってきた1年生はまだ低学年だから、言っても理解できないかもわからないけれども、繰り返しこの校歌はこういう意味を持っているんですよということを当然ながら教えていってくれるんですよ。</p>
会長	<p>はい。それは教えていきます。</p> <p>今いろいろなお話を聞かせていただいて、今後指導していく中では、きちっと歌詞の意味を伝えていって、先ほど意見がありましたけれども、そういう思いをきちっと受けとめて、歌が歌えるように指導していく中で、子どもたちにこの「やさしくつよく」という気持ちを、誇りを持って自分たちはそうになっていくんだよという強い思いを持って歌えるようにしていこうということであれば、「杉並区立永福小学校校歌」という形でもよろしいかなという。恐らく皆さん、そういう意見で共通理解していただけるかなという感じはしているんですけども、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>委員が心配なさっていたように、先生はわかります、校長先生もわかります。でも、この「やさしくつよく」というのは、先生が必ず子どもにずっと永遠に教えていくものだと思うので、先生も校長先生も引き継ぎのときでも何でも頑張っていただかなきゃいけないことなんですけれども、ぶれることもあると思うんです。そのために運営協議会があり、学校支援本部があり、これをずっと教えていってもらえるように協力すれば、運営協議会の中できちんと先生にお伝えすることだと思うので、こうやって地域の人が頑張っていくことなのではないかと思います。</p>
会長	<p>そうですね。ありがとうございました。</p> <p>この「やさしくつよく」というのは、今話にありましたけれども、とにかく永福地域の子どもたちに身につけてもらいたい子ども像ですので、そ</p>

	<p>れは学校だけではなくて、地域の方々も、もちろん学校を支援して下さる学校支援本部も、学校をサポートして下さる、参画していただける運営協議会の皆さん方も、やはり常に永福地区の統合新校の子どもたちの姿ということを入れたり、心に置いておきながら教育活動を進めていくということで、この校歌並びに教育目標をここで確認させていただいてよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは、このサブタイトルはつけない形にしていきたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p>続きまして、防災課から、よろしく申し上げます。</p>
<p>防災課長</p>	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>少しお時間をいただきまして、ご報告をさせていただきたいことがあります。学校の役割の中として、震災救援所、避難場所、震災に対する活動拠点ということもあり、地域の方々、それから学校、民生委員の方々が集まって、震災救援所運営連絡会を営んでおります。</p> <p>当然今、永福小学校にも永福南小学校のほうにも震災救援所の運営連絡会がございます。今回、学校自体が統合されていきますので、今後どうしていけばいいかということ、町会、防災会の皆さんとお話を進めさせていただいてきました。</p> <p>永福南小学校をこのままの地域だけでやっていくという選択肢もあるのですが、それだと、今までの学校を巻き込んで地域の中で活動していくとなるとなかなか難しいというところで、2つの町会、防災会とお話を進めさせていただきました。</p> <p>この4月に統合なので、どういう形にするかというご意向を聞いて、どこか別の学校の震災救援所で一緒に活動していきたいと。2つそれぞれご意向は違うんですけども、そちらの学校のほうで受け入れていただくような形で、私どもを含めて調整をしているところです。ほぼその方向性も決まり、受け入れる側の学校の震災救援所の連絡会のほうも新たにそういう形で受け入れて、4月以降、一緒になって震災救援所の連絡会として活動していこうということになりました。具体的には、日ごろの訓練をやっていただくとか、連絡会の中で、いざ発災したときの避難所の運営を一緒に確認していただくとかいうことを定期的に区役所の職員も含めてやっていただいているところです。</p> <p>まだ結論が出ていないので最終的なご報告はできないんですけども、4月以降は永福南小学校で活動するのではなくて、ほかの学校の震災救援所の連絡会 具体的に名前はまだ決定ではないですけども、下高井戸下町会さんは高井戸第三小学校で活動したい、五月会さんは統合される永</p>

	<p>福小のほうで活動したいということなので、調整させていただいています。</p> <p>今日この場をおかりして、震災救援所連絡会がどうなるかということで、地域の皆さん、いざ発災したときにどうすればいいんだということもありますので、活動自体はそういったところに統合されていくということと、避難場所をどうするんだというところで、その新しい統合されるところに町会とか防災会単位で移動していただく形になりますので、これが決まりましたら、4月以降、皆さんにきちんとお伝えするような形をとっていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。そういうことで、この場で震災救援所の今後の取り扱いについてご報告させていただきました。</p>
委員	まだ今のお話はこれから決めていくことですね。
防災課長	最終的にはそうです。
委員	それなら結構です。ちょっと私のほうで少しお話ししたいこともありますので、この場では結構ですが、今度の会長会のときにでも伺ってお話ししたいと思っております。
会長	では、この後、また具体的な取り組みとか区分け等については、今後、それぞれ話を進めていただくということでよろしいでしょうか。
防災課長	それぞれの救援所の連絡会の皆さんにきちんと伝えますし、地域の方にPRをして、連絡会はこうなりましたという形でお伝えするような形をとりたいと思っております。
会長	<p>以上よろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは、議題に戻ります。「永福南小学校・永福小学校統合協議会報告書について」です。</p>
新しい学校づくり係長	<p>お手元に資料2をお出しいただけますでしょうか。報告書は80ページと、かなり長いです。</p> <p>まず、この報告書の性格から説明させていただきます。こちらの統合協議会委員の皆様は、教育委員会から委嘱を受けてこの会をやっているということで、教育委員会に対して、3年間活動して、こういう討議をやってきました、その内容はこうですという報告が必要になるのです。今まで校名など、特に必要なものに関しては教育委員会にすでに報告はしているのですが、討議の詳細について報告するものがこちらになります。</p> <p>統合校の開校は4月なので、3月中に教育委員会、議会の文教委員会への報告を行いたいと思っております。</p> <p>資料をご覧ください。冒頭の「はじめに」では、会の性格や目的、検討の概要を簡略に述べています。検討してきた大きな議題の 番目は、「統合新校開校に向けての学校施設整備について」です。1ページから12ページ</p>

	<p>まで新永福小学校の新プール・体育館棟の基本設計等について皆様に検討していただいていた経緯等が逐一記されているわけですね。</p> <p>番目は、「統合新校が目指す教育について」です。こちらについては、統合新校のコンセプトをどうするかという討議から始まり、最終的に教育目標の「やさしくつよく」を導き出していったわけです。</p> <p>番目が「統合新校の校名について」、番目「校歌・校章・コミュニケーションマークについて」、これらと同時並行で討議を進めてきましたが、番目が「統合新校の通学路について」です。構成についてです。例えば3ページ以降を見ていただきますと、第1回目ではこういうことを話したよ、第2回目、第3回目では新しい設備についてこういうことを話しましたよというような経緯が載っています。また視察に行ったときの写真や最終的な基本設計図を掲載してあります。</p> <p>本編の最後、「その他」では、直接こちらの統合協議会の中の検討事項ではないが、震災救援所や統合に伴う体育館や校庭の学校開放利用について、どうなっていくのか、皆様から質問等が寄せられた部分ですので、これについても簡略に触れております。</p> <p>資料編では、統合協議会ニュース、協議会の委員名簿、設置要綱、統合協議会の検討経過の一覧、コミュニケーションマークの最終候補作品等を載せております。</p> <p>きょうこれを逐一読んでいきますと時間が足りません。皆様、初見ですので、お持ち帰りいただいて、中身を確認していただき、何かこういうところはちょっと変えたり付け足したりした方がいいんじゃないかとか、そういう指摘がございましたら、事務局にご連絡いただき、最終的な取りまとめの確認は正副会長と事務局にお任せいただくという形をとらせていただければと思っております。以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。大変ボリュームがある報告書ですので、それぞれお持ち帰りいただいて、ご意見がありましたら個別的に事務局のほうにお出しいただきたいということですが、そういう方法でよろしいですか。方法についてはよろしいですか。(異議なし)</p> <p>では、期限的にはいつごろまでにこれをお出しすればよろしいでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>2月13日の教育委員会で報告したいので、できれば2月5日までに事務局のほうにご連絡いただけるとありがたいです。</p>
会長	<p>わかりました。じゃ、2月5日ということではよろしいでしょうか。(異議なし)では、2月5日の火曜日までということで、メール並びにファクス、郵送、何でも結構ですので、お送りいただければと思います。</p>

	<p>では、報告書については以上です。よろしいでしょうか。(なし)  それでは、続いて、報告事項のほうに移ります。</p> <p>2番目の「コミュニケーションマークの使用について」です。まずは、コミュニケーションマーク制作部会でいろいろ考えていただいたコミュニケーションマークをもとに旗を作成いたしました。そして、色つけ等しながら、このような形ができました。これがそのでき上がった旗です。できるだけ子どもたちの笑顔、明るさ、芝生の緑とか、けやきの濃い緑とかをベースにしながら、子どもたちが仲よく、楽しく学校生活を送ろうねというような意味をあらわした旗です。一応これはご紹介ということでよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>では、4月からはこのような旗を今の屋上の掲揚台に掲揚していく形になります。</p> <p>それで、ここの「使用について」ということなのですが、今後、4月1日から、例えばマークそのものはこのマークを使っていきます。学校だより等の、学校からのお手紙についてはこのマークを使用していこうと思っています。この単体のマークだけの色について、今はちょっと制作途中なんですけれども、これについてはいろいろなところで活用して、コミュニケーションマークを制作する上での趣旨に基づいた形が、子どもたちや保護者、地域に広がって理解されるように進めていきたいなと思っています。</p> <p>この中でピンクに描かれて笑っているところですけども、これを例えば学校だよりとか、ホームページとか、そういう中でお互いに楽しく学校生活を送っているよというものをあらわす上でのマークとして、部分的に活用することも可能かなと思っているんです。これについては、このコミュニケーションマークの考案者の承認を得て、笑顔のところだけは使ってもいいよということであれば、一般的な中で使っていくということでもよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>こういうマークでいつも問題になるんですけども、やっぱりつくった人がいると、思うように自由に使えなくなってしまうところがあるんですね。でも、せっかくコミュニケーションマークがあるのに、これは使ってもいいし、これは使ってはだめということにならないように、もう永福小学校のマークという形で、つくった人からちょっと離すようなことってできないでしょうかね。</p>
会長	<p>制作者から離すということですね。使用許可をということですね。</p>
委員	<p>ええ。ずっと学校にいらっしゃるわけじゃないですし、誰々ということをしちゃうと、今度応募した人たちも「何で私たちは選ばれなかった」とか、いろんなことになってくるような気がするので、制作者はもうつくっ</p>

	たということだけで、使用許可は学校という形にならないかなと思うんです。
会長	制作部会でコミュニケーションマークを選んでいただいて、この統合協議会の中で最終的に決定させていただいたということは、制作者はその本人だけれども、そのもとは学校に所属するという形にしていきたいなと思っています。その部分について、きょう例えば皆さんにお諮りさせていただいて、それでオーケーであれば学校に所属するものであると。その中で、何かあったときにイレギュラーに、常に以前の統合協議会のメンバーを臨時招集というわけにはいきませんので、そのときの判断の中で活用していく。ただ、それを分解しているいろいろなことではなくて、その部分できょうお話をさせていただいた、原則的にはマークの部分、そして、笑っているところについては、子どもたちが元気に生活しているものをあらわしていくところで活用していくというあたりで、ここで押さえさせていただければなと思っています。それでよろしいでしょうか。
委員	それについて、元々募集するときに、著作権はあなたじゃなくて、所在する学校にあるよということがなかったんでしょう。そうしたら、色々な方がいるので、早目に「これはあなたのじゃなくて、もう学校のマークですよ」とはっきりさせたほうがいいと思います。
会長	ありがとうございます。じゃ、早々にそういうことで進めさせていただこうと思います。
委員	著作権は学校にあるということをお互いの共通認識にしていけばいいわけですよ。
会長	<p>じゃ、著作権は学校にあるということを確認して、最終的にはこれは学校で所有していくというふうにしていきたいと思いますけれども、それはご了解いただいてよろしいですか。(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。ということは、ある程度、学校に裁量をゆだねていただくということによろしいですね。(異議なし)</p> <p>それでは、その他のほうで5点確認をさせていただこうと思います。</p> <p>今まで統合協議会でさまざまなことを決めさせていただいて、確認をしてきたんですけれども、その中で幾つか、例えば創立記念日をいつにするか等々、校長の代はどうしていくのかとか、そのことについては双方の校長に委ねていただいて、ご報告させていただきますというお話をいただいているところなんですけれども、その辺の確認をもう一度ここでとらせていただきたいと思います。</p> <p>統合新校の永福小学校は永福地区にできた小学校で、今までの永福地区にできた小学校の歴史をつなげていくということで、25年度は63年目と</p>

	<p>なってきました。歴史についてはそういうことでした。これが一つ目。</p> <p>校長の代についてです。統合新校の永福小学校は現在の永福小学校の校地にあるので、校長室に永福小学校の歴代校長と永福南小学校の歴代校長名を併記していこうと思っています。そして、双方の歴史があって、一つになったという形で、次の初代校長がそこにつながってくるというふうにしていきたいと思います。ですので、平成 25 年 4 月の校長は初代校長という形になります。それが二つ目。</p> <p>卒業生台帳の話が出てきましたが、これも同じ考え方に立って、永福地区で卒業した児童ということで、永福南小学校と永福小学校の卒業生台帳の番号を合計いたします。そして、合計した次の数を平成 25 年 4 月からの卒業生台帳の番号とさせていただきたいと思っています。</p> <p>あと、創立記念日です。創立記念日は 6 月 18 日にしたいと思っています。その根拠は、永福南小学校が 6 月、永福小学校が 5 月 18 日ですので、双方を合わせた形で 6 月 18 日と創立記念日を設定させていただきます。これは、特に開校日を創立記念日とすることもないので、6 月 18 日という形で、双方の開校記念日を合わせた形にさせていただきます。</p> <p>そして、卒業式とか入学式の儀式的な行事ですけれども、ほとんどの学校が入学式については「平成 24 年度入学式」とか、卒業式の場合には「第何回卒業式」という形がありますけれども、これについては特に第何回と示していく必然性がないということですので、「平成 25 年度卒業式」という表記の仕方にしていこうと思っています。</p> <p>ということがこちらのほうで考えさせていただこうと言っていた部分でございしますが、そこまでで何かご意見等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>今の卒業式ですけれども、今までは私は第 4 回とか、要するに「第何回」というのはなくなって、「平成 26 年度卒業生」という表記に今後はなるわけですね。</p>
会長	<p>はい。ですので、従来の卒業生は永福小学校第 5 期卒業生、永福南小学校第 3 期卒業生というのはそれはそれでということです。今度は統合新校としての永福小学校なので、永福小学校の何年度卒業生という形になるかと思います。</p> <p>ここはこういう話でぜひ進めていって、どんどん年数がたつにつれて最初に話し合われたことがいろいろ変わっていかないように、確認されたことはこの中できちっと話をしてつないでいかなくはないだろうなと思っています。そんなことでよろしいでしょうか。(異議なし)</p> <p>あと、これからの作業としては、学校側としては今週に 4 年生が永福小学校で交流活動、2 月には教育課程の届けがありますので、これは「やさ</p>

	<p>しくつよく」という教育目標に基づきながら、皆さん方から出していただいた目指す子ども像について、それぞれ教科の領域とか、生活指導とか、特活ではどういうことを取り組んでいくのかということ、双方の校長、教務、主幹、副校長とあわせて考えて提出していきたいと思っています。</p> <p>また、先日教育委員会で、特色ある教育活動のプレゼンテーションがありましたけれども、その折にも従来両校合同で行っていた花いっぱい運動をそのまま引き継ぎ、地域の他校にも広げていくという形のプレゼンをさせていただきます。お金がつかどうかはまた別の問題です。というようなところまでが今までの話し合いの中で残されていた部分かと思ひますし、今後取り組んでいく部分ということで報告させていただきました。よろしいでしょうか。(なし)</p> <p>それでは、学校側の取り組みのほうは、加えて何かありましたら副校長から、そして、PTAのほうの取り組みとしてありましたら、PTAから出していただければと思います。</p>
委員	<p>PTAから報告させていただきます。新年度は統合第1年目ということで、PTAの役員を新体制で迎える形をとらせていただきます。選出がまだ年度内ということでしたので、永福南小学校から2名の役員の方、既に立候補いただいております。永福小学校から8名ということで、来年は10名の体制で進めさせていただくことに決定しました。</p> <p>また、永福小学校のPTAの会則にのっとってPTA活動を進めさせていただくということで決定しておりますので、その旨、ご報告させていただきます。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかにはよろしいですか。永福南小学校のほうからありましたら、いいですか。ありがとうございます。</p> <p>それでは、きょうの議題並びに報告事項は以上なんですけれども、よろしいですか。(なし)</p> <p>それでは、初めに申し上げましたが、これが最後の統合協議会になりますので、それぞれの委員の皆さん方からお一人ずつ、ご感想でも、これからのことでも結構でございますので、順番にお話をいただければと思っています。</p>
委員	<p>私は何て言ってもいいかわからないんですけども、いろいろと皆さんにはお世話になりました。勉強させていただいたこともあります。今後にかかしていかねばと思っています。きょうまでありがとうございました。</p>
委員	<p>確かにこの2年と8カ月、長い間、保護者の方、委員の方の難問を教育委員会の方たちがちゃんと答えを出してくれて、円満に解決できたこと、本当にありがたいと思っています。ありがとうございました。</p>

委員	<p>足かけ3年間、たってみると本当に早いもので、そんなにやっていたかなと思ったんですけども、今、お話があったとおり、この協議会はみんなが意見をそれぞれ自由に、活発に出し合って、対立することなく、こういうふうにとまとったということは非常に印象に残っております。これから新しい学校でみんなも協力していければいいんじゃないのかなと思います。約2年8カ月、お世話になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>この統合協議会の冒頭、区のほうから体育館棟のプランニングが出てまいりました。あのときに皆様からいろいろご意見が寄せられたはずなんですけれども、私もその中で1つだけ注文というか、こういうことにならないものかと申し上げた結果、次に出てきた設計図でたまたまそのようにしていただいたということで、大変うれしく思っているところです。</p> <p>それは、この学校防災倉庫、その横に階段室と屋上となっている部分、わずかなことだから、何とかここを2階にしていっていただけないものかと申し上げたところ、次に出していただいた設計図が、今でき上がった建物に変わっていて、大変うれしく思っているところでございます。あのときに申し上げたのは、むだなものでも箱をつくっておけば後で何とかなるんじゃないのか、使い道があるんじゃないかと申し上げたつもりではありますが、今見ますと更衣室になっていますね。立派な使い道ができたんじゃないかということで、非常に思い出に残っているところでございます。</p> <p>22回の統合協議会の中で、私も都合で何回か休ませていただきました。まことに申しわけなく思っているところですが、いろいろ細かい意見もございましたようですね。きょうの最後の校歌のサブタイトル、これ1つを決めるのにも大変それぞれの意見があったようなことで、これが最後の討議で、こんなことがずうっと続いてきて、それをまとめ上げたということはすばらしいことだったなと思わせていただいております。</p>
委員	<p>皆さん、どうもありがとうございました。私は子どもが6年生なので、統合と同時にこの協議会も卒業みたいな感じなんですけれども、この会に参加しなければ、こんなに地域の方が学校のことを思ってくれて、皆さん熱い思いを持っていることを知らなかったと思います。本当に参加してよかったと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は途中からこちらの会に参加させていただきました。それまではちょっと敷居が高いというか、少し耳にしていなくても、実際どんなことを話し合っているのかなということも、なかなかこういうことがなければ知る機会もないまま統合を迎えていたのかなと思います。</p> <p>地域の方や行政の方、保護者の方、皆さんでたくさんいろいろ知恵を出し合って、子どもたちのことを考えて話し合ってきたというのは、これが</p>

	<p>らも子どもたちにあなたたちを見守っていくよという気持ちは残っていくだろうし、そういうことが少しでも伝わっていくんじゃないかな、そうやっていけばいいなと思いながらこの会に参加させていただきました。短い間でしたけれども、本当にありがとうございました。とても楽しかったです。</p>
委員	<p>私も、途中からこちらの会に参加させていただいたんですけども、最初は自分の学校の保護者の代表だという強い思いで来たんですけども、いざ参加してみると、皆さん本当に統合する子ども、お互いの子どもたちのことを一所懸命思ってくださいということがわかって、ああ、一緒に考えて、知恵を絞っていい学校をつくりたいという思いがとても強くなりました。</p> <p>そして、私たちの意見、みんなでまとめた意見を教育委員会の皆様が一所懸命一つにまとめてくださったことを本当に心より感謝しております。4月からまたいい学校生活を子どもたちが送れるのも皆さんのお力のおかげだと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>ありがとうございました。私も途中からこちらの会のメンバーとして参加させていただきました。本当に勉強になることばかりですし、子どもたちのことを皆さんが真剣に考えていただいていることに毎回本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。</p> <p>私は今後も在学生の保護者ですので、あと数年は小学校でお世話になることになると思いますが、この協議会で話し合われたことを間違った情報が先行しないような、そういうパイプ役の形で、この会をむだにしないように努めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>最後の1年間、参加させていただきました。役目柄地域の行事などに参加させていただくことも多くありまして、また、この連絡会を通じまして、他校のPTAの方と多く知り合うことができ、統合と聞いたときは本当に不安な気持ちでしたけれども、今は4月からの統合を本当に楽しみにできるようになりました。皆様のご協力のおかげだと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
委員	<p>約3年、あつと言う間でしたけれども、今まさに統合のことをやっているほかの地区のことをちょっと耳に挟むにつれ、とてもすばらしい方々に恵まれて、本当に穏やかに、ですが、言いたいことはちゃんと意見を言って、まさにやさしくつよく、つよくやさしく、皆さんが協議を進めていただいたことに本当に感謝しております。ありがとうございました。以上です。</p>
委員	<p>私は、皆さんと同じように2年8カ月お世話になりました。在校生の割</p>

	<p>合は、永福南小側から見ると2対8ぐらいの割合で、これはとてもじゃないけど話し合いにならないんじゃないかと思いましたけれども、先ほど委員がおっしゃいましたように、わだかまりなく意見を出して、そして、一番肝心なことは両校の子どもたちのことを思い、また、保護者のことを思い、地域のことをみんなで思った話し合いではなかったかと思います。</p> <p>それから、教育委員会の事務局の方々には周到的準備をしていただきましたので、私ども委員は言いたいことが言えたということ、それから、発言にセーブがなかったことがこの会を非常にスムーズに動かした原因ではないかと思います。そして、みんなで協力していい学校をつくっていいんじゃないかという気持ちが十分にありました。そういったことで、副題にもなっています「やさしくつよく」というのは書かなくても、実の面であらわれてくるんじゃないか、実績があらわれてくるんじゃないかと私は思います。期待しております。どうもお世話になりました。</p>
委員	<p>2年8カ月、皆さんと一緒に討議してきて、非常に楽しい思い出がいっぱいです。特にだんだん末期になってきますと、いろんなことが起こってきましたけれども、皆さん紳士的に 私の耳にも入ってきたんですよ。あるところで、統合のすったもんだで大変だったという話も入ってきているんですけども、そういうこともなく、非常によかったと思います。</p> <p>最後に1つだけお願いがあるんです。この間、永南の餅つき大会が児童館であったんです。児童館の方が「統合」という言葉を使わないで「合併」とか、何かそういう言葉を使って、永福小学校の方は学校が残りますからいいんですけども、「永南は最後ですね」というような言い方をされて、ちょっとそういうところでカチッとくる方がおられたんじゃないかと思うんです。永南のおやじの会も、永南の父兄の方も、皆さん文句を言わずにちゃんとやっておられたので、すばらしかったですけれども、やっぱり教育委員会の方、ぜひあそこの管理をする人、要するに管理者になる方は、自分たちで勝手に変な言葉をつくらなくて、皆さんが気を悪くしないような言葉を使わせてください。お願いします。それだけです。</p>
委員	<p>先ほど、2年8カ月やっていたという話を聞いて、ああ、もうそんなにやっているのかと、自分でも参加していながらびっくりしているんです。この報告書をふっと見ていて、22年の5月から始まって、7月にみんなでバスに乗って桃井第五小学校に行ったり、そんなこともあったなど、バーツと走馬灯のように過去のことが思い出されました。その中でいろんな話が出て、いろんな問題解決がされてきて、とりあえずもう間もなく統合校が発足ということで、参加した一員としては非常に安心しております。</p> <p>これからは4月以降、新しい学校がよりよくなっていくために、地域の</p>

	<p>一員として今後積極的に協力したいなと今しみじみ思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、ありがとうございました。</p>
委員	<p>いろいろとお世話になりました。思い返せば、一番最初にどなり飛ばした私、教育委員会のメンバーがガラッとかわって、皆さんいらっしやらないので、そのメンバーの皆さんに失礼をおわびし、よろしくお伝えください。</p> <p>しかし、私の気持ちはそのときと今でも変わりません。学校は生き物なので、手を抜けば必ず衰退します。そうすれば、子どもたちにも影響します。そのときの私の気持ちは今も変わらず、それが私の学校を支援していく糧になっていると思っています。ですので、そこら辺はもう二度とこういう、どちらかが悲しい、どちらも悲しい、そういう思いをしないようにしていかなきゃいけないと思いますし、私たち地域が、簡単に人数が少ない、多いということで学校をふやしたり、減らしたりしてはいけないということ伝えていかなきゃいけないと感じました。</p> <p>学校が閉校式を迎えて、統合となって、いろんなことを胸に抱えた子どもたちもいるかもしれないけれども、人生長く考えたら、こういうことがあったことで何か乗り越えられる、これからつらいことがあったときに乗り越えられる糧になるかもしれないので、私たち大人はその糧にしていかなきゃいけないかなと思います。</p> <p>私は地域の人間で、これからどういうふうになるかわかりませんが、子どもたちのために何とかまた力を尽くしたい、尽力したいと思っています。みんな仲間で、これからも一緒にやっていきたいと思っています。いろいろとありがとうございました。</p>
委員	<p>みんな言われてしまったんですけども、今ずっと皆さんのお話を伺ってきて、私は永福に住んでいてよかったなとしみじみ思うことが結構ありました。穏やかで、言いたいことは言う。でも、自分の意見を通すだけじゃなくて、皆さんの意見を聞き入れながら、誰のために、何のためにこういう話し合いをやっているのかというのを皆さんが整理されていて、受け入れられる。未来のために何かをしよう、させてもらおうとしている気持ちがよくわかったので、すごくいい経験になったと思うし、私は2年8カ月、歳をとっていないと思います。皆さん、若い方のご意見を伺って、子どもたちと触れ合う、そういう機会をまたふやして下さったので、このまま若いままできたらいいなと今思っております。</p> <p>ましてや杉並区の教育委員会の方々はそのような方のご意見を受け入れて下さって、いろいろ調整して下さってということをして下さったので、上から一方的に押しつけることがなかったので、またこの会も穏やか</p>

	<p>に進んできたのではないかなと思います。一番は、校長先生のお二方が一所懸命話し合ってください、うまく事が運ぶようにご努力をされたのではないかと考えておりますので、皆さんのお力添えにすごく感謝をして、御礼申し上げます。今後とも永福小をよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、事務局のほうからはいかがですか。</p>
学校支援課長	<p>事務局を代表してご挨拶させていただきます。</p> <p>本当に皆さん、2年8カ月、どうもありがとうございました。私自身はこの1年間しかかわり合いがなく、この統合協議会には18回目から出席させていただきました。皆さんの永福地域の子どもへの思いの強さを本当に感じました。きょう聞いた校歌の中に、皆さんの気持ちが全部凝縮されていると思います。</p> <p>先ほどもありましたが、この「やさしくつよく」を伝えていかなければいけないということは、私ども教育委員会もまた頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご指導いただければと思います。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>私も最後の1年間、ご一緒させていただいて、ありがとうございました。こちらの会、区の方を初め両校の保護者の方々、地域の方々、子どもたちだけじゃなくて、大人のほうも一緒に手を取り合って進めてこられたということが、本当にこの先もうまくいくのではないかと安心しております。子どもたちのためにお力をお貸しいただきまして、ありがとうございました。3月まで、最後まで頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>この統合協議会と並行しまして、学校のほうとしましては子どもたちの交流活動、そして教職員の統合会議を2年間進めてまいりました。その結果、平成25年度の統合を間もなく迎えようとしているところです。</p> <p>本校の子どもたちは人数が多いですけれども、永南の子どもたちを迎えるというのではなくて、一人一人の子どもたちがお互いに認め合い、助け合い、そして切磋琢磨していく、そういう学校が25年度開校するものと思っております。これからもどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
副会長	<p>先週の金曜日、四谷中学校の研究発表会に行ってきました。四谷中学校の前は四谷第一中学校という校名でした。四谷中学校は、四谷第一中と四谷第二中が統合して四谷中学校に校名が変わったんです。実は私は四谷第一中の卒業生です。卒業生として、母校が統合したときは一体どういうふうになるんだろうという気持ちで行ってきました。それとともに、自分が今校長という立場でメモリアルルームをつくるのと、永福南小の卒業生とし</p>

	<p>てメモリアルルームを見たときとの思いの違いを感じるためにも行ってきました。</p> <p>実際に行ってみるとメモリアルルームはありませんでした。互いの校歌の看板はあったんですが、それぞれ統合の仕方はさまざまだなということを感じました。これを今回の統合にどう生かせるのかなという話はあるんですけども。</p> <p>本題に戻って、2年何カ月か、私にとってはもっと長い話でしたが、今回の22回でこの統合協議会はおしまいです。この先もそうですが先生という立場はついてくるのかなと思っています。</p> <p>いろんな立場の意見とか、さまざま思いもあるんですけども、私は、基本は子どもの目線に立って、それでNGだったらどこまでも闘いますよとPTAにもよく言っています。</p> <p>会長とは、統合のことを含め、子どもたちの教育についてもどういう考えでお互いがいるかということもよくわかっています。本当に率直に進めてこれたということについては、このコンビだからできたのかなという思いがあります。</p> <p>最後、あと2カ月、このコンビでその仕上げをしっかりとなくちゃいけないなと思っています。今後とも4月の先からも新しい学校をぜひぜひよろしく願いしたいなと思っています。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>では、私が最後、本当にお礼でございます。2年8カ月、第22回の統合協議会を終えるまで、地域の皆さん方、保護者の皆さん方、学校支援本部の皆さん方、そして事務局、教育委員会の皆さん方、大勢の皆さん方に支えられて本日に至ったなと思っています。</p> <p>会長ということで務めさせていただきましたけれども、本当につらいなという思いもあったことも事実です。やっぱり統合協議会の中で、あしたはとか、今度はと思うと、どういうふうに会を運営していったらいいのかと思いつながら、正直言ってきょう行きたくないなとか、そういう子どもの気持ちがよくわかるんですけども、そういうことがあったのも事実です。</p> <p>だけれども、きょうの最後の校歌のサブタイトルの話し合いがまさにこの2年8カ月の話し合いを象徴していたなと思っています。皆さんが自分の考えや思いを語る。そして、そのお互いの思いを聞いていながら、やはりこうしたい方がいいんじゃないかということで、会の中で方向性を決めていける。これは、誰かが「こうじゃない。ああだよ」と言うんじゃないで、自分たちの中で会を運営していくというのは、まさにこれからの統合会議とか、今後の教育のあり方を考えていく会にふさわしいモデルになるものだろうなと、この統合協議会を私は自負しております。</p>

	<p>何とか4月を迎えられるように、これからが最後の正念場だと思っています。そんなところで子どもたちが4月に会って、お互いにまた頑張っていこうねと笑顔で、そして、やさしくつよく、お互いに気持ちをわかり合いながら進めていこうねという、そういう学校を目指していきたいと思っています。</p> <p>最後になりましたけれども、事務局の皆さん方には大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、この統合協議会は、とりあえず正式の会としてはきょうが終わりでございます。先ほどもありましたけれども、教員は異動があります。けれども、地域の方々はこれからずっとこの統合新校、永福小学校を見守っていただきたいと思っていますので、統合協議会はきょうはとりあえずは終わりますけれども、あしたからまた新たな統合協議会として、子どもたちのために新しい学校を見守っていただければなと思っています。どうも本当にありがとうございました。(拍手)</p> <p>では、特に事務連絡はよろしいですか。(なし)</p> <p>それでは、最後になりましたが、玉山部長、お話しいただければと思います。</p>
<p>学校教育担当 部長</p>	<p>最初に私の思いは先ほど皆さんにお伝えしました。きょうは感想を皆さんに言っていただいたんですけれども、教育委員会の我々のやり方についても評価していただいたのは非常にうれしく思っています。どうもありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>では、以上をもちまして、第22回杉並区永福南小学校・永福小学校統合協議会を閉じさせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>